

授業科目、担当者（実務経験のある教員等含む）及び時間数の一覧

2022 年度

学校名	国際動物看護専門学校
学科名	動物看護学科

単位時間

区分	科目名	教員名	実務経験の有無	1年次		2年次		3年次		合計
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	
専門科目	グルーミング実習	萬澤 恵理	○	240	120					360
	グルーミング理論	長尾 麻紀子	○	30						30
	家庭動物管理学	小西 伴彦	○	30						30
	犬のしつけ学	小西 伴彦	○	30						30
	犬学	長尾 麻紀子	○	30						30
	動物栄養学Ⅰ	横山 歩	○	30						30
	動物内科看護学Ⅰ	矢地 彩加	○	30						30
	動物内科看護学実習Ⅰ	矢地 彩加	○	30						30
	動物形態機能学Ⅰ	中村 武文	○		60					60
	動物形態機能学実習	中村 武文	○		30					30
	動物繁殖学	宮原 佳奈	○		30					30
	生命倫理・動物福祉	横山 歩	○		30					30
	人と動物の関係学	小西 伴彦	○		30					30
	動物看護学概論	矢地 彩加	○		30					30
	動物感染症学	中山 小百合	○		90					90
	動物看護総合実習Ⅰ	矢地 彩加			60					60
	小 計（単位時間）				450	480				
授業科目及び授業時間数表	動物形態機能学Ⅱ	阿部 隆起	○			60				60
	動物臨床検査学	横田 真早子	○			30				30
	動物臨床検査学実習	横田 真早子	○			60				60
	動物病理学	岡田 俊夫	○			30				30
	愛玩動物学Ⅰ	宮原 佳奈	○			30				30
	動物医療コミュニケーション	斉田 千春	○			30				30
	動物臨床看護学総論	斉田 千春	○			30				30
	動物内科看護学Ⅱ	中村 武文	○			30				30
	動物内科看護学実習Ⅱ	中村 武文	○			30				30
	動物外科看護学	中山 小百合	○			30	30			60
	動物外科看護学実習	中山 小百合	○			30	60			90
	動物薬理学	中山 小百合	○			30	30			60
	動物臨床看護学各論	阿部 隆起	○			60	60			120
	動物内科看護学Ⅲ	横田 真早子	○				30			30
	動物内科看護学実習Ⅲ	横田 真早子	○				60			60
	動物栄養学Ⅱ	横山 歩	○				30			30
	動物臨床看護学実習	斉田 千春	○				60			60
国家試験対策	横山 歩						120		120	
動物看護総合実習Ⅱ	横山 歩					45	45		90	
小 計（単位時間）						525	525			1050
専門科目	動物関連法規	八木 幸隆	○					30		30
	公衆衛生学	八木 幸隆	○					60		60
	動物行動学	小西 伴彦	○					30		30
	比較動物学	山口 徹	○					60		60
	愛玩動物学Ⅱ	宮原 佳奈	○					30		30
	適正飼養指導論	横山 歩						60		60
	動物生活環境学	宮原 佳奈						30		30
	ペット関連産業概論	矢地 彩加						30		30
	動物愛護・適正飼養実習	横山 歩						30		30
	動物看護総合実習Ⅲ	宮原 佳奈						90		90
	国家試験対策	宮原 佳奈						120	300	420
	臨地実習	宮原 佳奈							240	240
小 計（単位時間）								570	540	1110
合 計（単位時間）				450	480	525	525	570	540	3090
うち、実務経験のある教員の時間数（単位時間）				450	420	480	360	210		1920

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物形態機能学Ⅱ		動物看護学科/2年	2023/前期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	30回	60単位時間	必須	阿部 隆樹
授業の概要				
動物の体の構造（形態学）と仕組み（機能学）は密接な関わりがあり、これを合わせて形態機能学として細胞レベルから器官系レベルの各段階で学修することで生命維持の仕組みを理解し、他の基礎学問や臨床系科目を学修するための基礎を構築する。				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・体の構造を知ることによって動物の扱い方に配慮することができる。 ・細胞、組織、器官、器官系の正常な構造と機能、関係性を理解することで動物の疾病の機序を理解できる ・応用学問や臨床学問の基礎を構築することができる。 				
実務経験有無	実務経験内容			
有	動物病院で獣医師として勤務 地方公務員獣医師として勤務			
時間外に必要な学修				
テキストや授業のノートをもとに復習し理解を深める				
回	テーマ	内容		
1	生命のすがた 細胞の構造と働き	体を構成する主な基本物質や動物細胞の基本的な構造と働きについて		
2	細胞分裂、遺伝情報	細胞分裂のしくみ、DNAからタンパク質の合成過程、DNAの変異について		
3	血液と造血器	血液の機・構成成分・構造、各血球細胞の機能、血液凝固機序について		
4	生体の防御機構	免疫機構（自然免疫・獲得免疫）について		
5	血液循環とその調節①	血液循環の種類、心臓の仕組み、心筋の性質について		
6	血液循環とその調節②	心筋の自動性と興奮伝導、心臓の周期、心電図について		
7	血液循環とその調節③	心臓機能の調節、血管の仕組み、血液循環の調節について		
8	内分泌とホルモン①	内分泌総論、ペプチドホルモン、ステロイドホルモン、アミン型ホルモン、ホルモンが働く仕組み		
9	内分泌とホルモン②	内分泌系の基本構造、ホルモン各論		
10	消化吸収と栄養代謝①	歯、舌、咽頭、食道、胃		
11	消化吸収と栄養代謝②	腸、唾液腺、膵臓、肝臓		
12	消化吸収と栄養代謝③	消化と吸収（炭水化物、タンパク質、脂肪）		

回	テーマ	内容		
13	消化吸収と栄養代謝④	代謝総論、三大栄養素、代謝経路、ビタミン、ミネラル		
14	尿の生成と体液調節①	腎臓、尿路		
15	尿の生成と体液調節②	体液、電解質バランス、酸・塩基平衡		
16	脳と神経①	役割、構成細胞、静止膜電位と活動電位、興奮の電動とシナプス伝達、シナプス		
17	脳と神経②	神経伝達物質と受容体、神経回路、神経系、脳、脊髄		
18	脳と神経③	自律神経系、行動の神経調節		
19	感覚と情報伝達①	総論、受容器、体性感覚、嗅覚、味覚		
20	感覚と情報伝達②	聴覚と平衡感覚、視覚		
21	からだの支持と運動①	骨格		
22	からだの支持と運動②	骨格筋①		
23	からだの支持と運動③	骨格筋②		
24	外皮系と体温調節	外皮、皮膚による体温調節機構		
25	呼吸とその調節	構造、呼吸の仕組み		
26	性と生殖①	総論、生殖器の解剖学		
27	性と生殖②	性ホルモン、発情周期		
28	性と生殖③	受精と妊娠、分娩		
29	新生子の特性	解剖学的特徴、生理的機能		
30	まとめ	今まで学習した内容を復習し、確認テストを行う。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
愛玩動物看護師カリキュラム準拠 教科書1巻 『動物形態機能学』 (エデュワードプレス)		期末試験	100.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物臨床検査学		動物看護学科/2年	2023/前期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	横田 真早子
授業の概要				
様々な臨床検査の原理や方法、意義について学び、生体検査における動物の取り扱いや検体検査における検体や測定機器の正しい扱い方及び所見の記録方法を修得する。				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・検査の原理を理解することで検体や測定機器の適切な取り扱いができるようになる。 ・検査の意義を理解することで病気の診断や治療のサポートができるようになる。 ・検査の方法を理解することで獣医師の診察の補助を適切に行うことができる。 				
実務経験有無		実務経験内容		
有		動物病院にて獣医師として勤務		
時間外に必要な学修				
配布資料や授業のノートをもとに復習し理解を深める				
回	テーマ	内容		
1	臨床検査の基礎	臨床検査は検体検査と生体検査に分けられ、それぞれどのような検査が行われるかを学修する		
2	血液検査①	検査の目的、採血部位、採血の準備、抗凝固剤の選択、血漿と血清の選択について学修する		
3	血液検査②（血液一般検査）	全血球計算法、血液塗抹検査、ヘマトクリット管を用いた検査について学修する		
4	血液検査③（血液生化学検査）	ドライケムの取り扱い方法や測定する検体の処理方法について学修する		
5	血液検査④（血液凝固系検査）	一次止血、二次止血の機構に異常がないか確認する検査について学修する		
6	血液検査⑤（血液ガス分析検査）	血液ガス測定の意義や検体の取り扱い方、検査方法について学修する		
7	血液検査⑥（免疫学的検査）	感染症の有無やアレルギー疾患、免疫介在性疾患などの検査の目的と意義について学修する		
8	血液検査⑦（貧血時・輸血時の検査）	貧血時・輸血時における必要な検査とその方法や検体の取り扱いについて学修する		
9	糞便検査①	検査の目的、採便法、肉眼的観察の方法について学修する		
10	糞便検査②	寄生虫の検査、その他微生物の検査、消化試験について意義と方法を学修する。		
11	尿検査②	尿沈渣について、標本の作製と所見の解釈について学修する		
12	尿検査①	検査の目的、採尿法、検体の取り扱い、尿の性状検査の意義と方法について学修する		
13	尿検査②	尿沈渣について、標本の作製と所見の解釈について学修する		
14	細胞診と病理組織検査	細胞診断の目的と方法について学び病理組織検査のための検体の取り扱いについて理解する		

回	テ ー マ	内 容		
15	遺伝子検査	遺伝子検査の目的と応用例について学び遺伝子検査の採取及び取り扱いについて理解する		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
愛玩動物看護師カリキュラム準拠 教科書7巻 『動物臨床検査学』 (エデュワードプレス) 愛玩動物看護師カリキュラム準拠 動物看護実習テキスト 第3版		期末試験	100.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物臨床検査学実習		動物看護学科/2年	2023/前期	実習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	30回	60単位時間	必須	横田 真早子
授業の概要				
検体検査及び生体検査に必要な手技や機器の扱い方など、動物臨床検査学で学んだ知識の実践力を修得する				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・臨床検査学で学んだ知識を生かし、動物や検体、機材などを取り扱うための技術を修得することができる。 ・得られた検査結果を適切に報告することができるようになる。 ・検査の方法を理解することで獣医師の診察の補助を適切に行うことができる。 				
実務経験有無		実務経験内容		
有		動物病院にて獣医師として勤務		
時間外に必要な学修				
配布資料や授業のノートをもとに復習し理解を深める				
回	テーマ	内容		
1~2	臨床検査の基礎	臨床検査においてどのような検査が実施されるかを理解し、それぞれの基準値・感度・特異度・制度管理について知る		
3~4	血液検査①	検査の目的・採血部位・採血の準備・抗凝固剤の選択・血漿と血清の選択や検体の取り扱いについて学修する		
5~6	血液検査②（血液一般検査）	全血球計算法・血液塗抹検査・ヘマトクリット管を用いた検査法と、血清および血漿の分離方法について理解する		
7~8	血液検査③（血液生化学検査）	ドライケムの取り扱い方法や、測定する検体の処理方法について学修する		
9~10	血液検査④（血液凝固系検査）	一次止血・二次止血の機構に異常がないか確認する検査について学修する		
11~12	血液検査⑤（血液ガス分析検査）	血液ガス測定の意義や検体の取り扱い方、検査方法について学修する		
13~14	血液検査⑥（免疫学的検査）	感染症の有無やアレルギー疾患、免疫介在性疾患などの検査の目的と意義について学修する		
15~16	尿検査①	検査の目的・採尿法・検体の取り扱い・尿の性状検査の意義と方法について学修する		
17~18	尿検査②	尿沈渣について、標本の作成と所見の解釈について学修する		
19~20	尿検査③	その他、疾病により出現する尿の異常と異常値所見の解釈について理解する		
21~22	糞便検査①	検査の目的・採便法・検体の取り扱い・便の性状検査の意義と方法について学修する		
23~24	糞便検査②	各種虫卵の検出方法、原虫の検出方法について理解する		
25~26	糞便検査③	その他微生物の検査、消化試験について意義と方法を学修する		

回	テーマ	内容		
27～ 28	細胞疹と病理組織検査	細胞診断の目的と方法について学び病理組織検査のための検体の取り扱いについて理解する		
29～ 30	遺伝子検査	遺伝子検査の目的と応用例について学び遺伝子検査の採取及び取り扱いについて理解する		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
愛玩動物看護師カリキュラム準拠 教科書7巻 『動物臨床検査学』 (エデュワードプレス) 愛玩動物看護師カリキュラム準拠 動物看護実習テキスト 第3版		期末試験	100%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物病理学		動物看護学科/2年	2023/前期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	岡田 俊夫
授業の概要				
様々な疾病が組織や臓器にもたらす変化、その原因、発生機序、病態について学ぶ。病気の変遷、細胞や組織に生じる変化、退行性病変、進行性病変、循環障害、炎症、腫瘍、奇形などについて具体的に学ぶ。				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・病理解剖と病理組織学的検査の目的、意義について理解する。 ・細胞や組織に生じる変化、例えば変性、壊死、アポトーシス、過形成などについて理解する。 ・循環障害、例えば充血、うっ血、出血の原因と病態、血栓の成因、梗塞などを理解する。 ・炎症の定義と5大主徴、分類、発生機序などおよび腫瘍の定義、分類、原因などを理解する。 				
実務経験有無		実務経験内容		
有		開拓協同組合連合会勤務 食品衛生監視事務所勤務 獣医師として動物病院に勤務 石川県畜産会に勤務 獣医師として動物病院を開業		
時間外に必要な学修				
各講義で実施した内容をノートなどを使用して復習する				
回	テーマ	内 容		
1	病理解剖と病理組織学的検査の目的、意義	疾病診断の最前線である病理解剖（剖検）、基本的な病理組織学的検査の目的、意義を理解する。		
2	病理組織標本の作製法、病理組織学的検査の実施手順	一般的な病理組織標本の作製方法、目的に応じた特殊な固定法、標本作製、染色方法を理解する。		
3	変性と物質沈着、壊死とアポトーシス	細胞障害の形態学的変化、異常蛋白質の沈着症、組織の死（壊死）、細胞死（アポトーシス）を理解する。		
4	細胞増殖のメカニズム、再生と化生	細胞や組織の増殖を制御する因子、細胞増殖のメカニズム、組織および器官の再生メカニズムを理解する。		
5	過形成と肥大、低形成と萎縮	ストレス、刺激に対する細胞障害、細胞の応答（適応、恒常性）を理解する。		
6	充血とうっ血	動脈性の血液が増加（充血）と静脈性の血液が増加（うっ血）の原因と病態を理解できる。		
7	出血の原因と病態	出血の定義、分類、影響、血液凝固、止血機構、出血性素因などを理解する。		
8	血栓の成因、播種性血管内凝固（DIC）の病態	血栓の性状による分類、血栓形成の条件、血栓の二次的変化と転帰およびDICの病態を理解する。		
9	虚血と梗塞、浮腫、水腫	虚血の原因による分類、梗塞の原因、種類と特徴および経過、水腫の発生要因と分類を理解する。		
10	ショックの原因と分類、病態	ショックの分類および病態生理、ショック臓器の病理を理解する。		
11	炎症の定義と5大主徴、炎症の分類と原因、特徴	炎症の定義と5大主徴（発赤、熱感、腫脹、疼痛、機能障害）、急性炎症と慢性炎症の原因と特徴を理解する。		
12	炎症に関与する細胞と化学伝達物質、炎症の経過と治癒	各種炎症性細胞、各種炎症の仲介物質（ケミカルメディエーター）を理解する。		
13	腫瘍の定義と分類	細胞の増殖および分化の機構とそれらの異常、腫瘍の定義と種類を理解する。		
14	腫瘍の原因と発生機序、腫瘍の転移と進行、腫瘍と宿主の関係	腫瘍の原因と発生機序（突然変異説、化学異常説）、腫瘍の転移の種類、宿主へ影響（局所、全身的）を理解する。		
15	遺伝子・染色体異常、発生異常と奇形	先天異常の概念と分類を理解する。		

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
愛玩動物看護師カリキュラム準拠 教科書2巻 『動物病理学』 (エデュワードプレス)	期末試験	100.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
愛玩動物学 I		動物看護学科/2年	2023/前期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	宮原 佳奈
授業の概要				
人と綿密な関係を築く動物は伴侶動物と呼ばれ、本講義では人との関わりが古くからある猫や、飼育が一般化しつつあるウサギやハムスターなどのエキゾチックアニマルと呼ばれる伴侶動物に関しても学ぶ。伴侶動物の歴史や品種、生態だけでなく、各動物の解剖学的特徴や飼育環境を理解し、環境整備の方法を習得する。また、各動物の代表的な病気や予防に関する知識も併せて習得する。				
授業終了後の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> 各動物の特徴、生態に関して正しい情報を理解している。 適切な飼育環境、食事について動物を飼育したことがない人にも説明ができる。 各動物の飼育上知っておくべき主要な病気やその予防法に関しても知識を有し、適切な接し方を伝えることができる。 				
実務経験有無		実務経験内容		
有		動物看護師として、動物病院に勤務（現在に至る）。		
時間外に必要な学修				
各講義で実施した内容をノートなどを使用して復習すること				
回	テーマ	学修内容		
1	伴侶動物学について	伴侶動物の定義を理解する。		
2	猫の歴史 身体づくり①	人と猫の歴史、おもな部位名称、骨格、内臓、筋肉について学ぶ		
3	身体づくり②	猫の目、耳の特徴を学び生活における役割を学ぶ。		
4	身体づくり③	猫の鼻・ひげ・歯の特徴を学び生活における役割を学ぶ。		
5	健康管理 繁殖	成長プロセス、栄養学、繁殖について学ぶ。		
6	病気の基礎知識①	人獣共通感染症、内部外部寄生虫、遺伝性疾患について学ぶ。		
7	病気の基礎知識②	ワクチンとそれに関連する感染症、予防について学ぶ。		
8	病気の基礎知識③	猫によくみられる代表的な疾患について学ぶ		
9	猫の問題行動	不妊手術の必要性、性ホルモンに関係する問題行動、関係する疾患を学ぶ。		
10	習性とボディランゲージ	特徴的な習性、行動、体勢、身体の動きについて学ぶ		
11	猫の飼育方法②	爪とぎとトイレのしつけ・習性を学び、環境整備の方法を理解する。		
12	猫の飼育方法③	室内飼育の必要性、グルーミングについて学ぶ。		

回	テ ー マ	学修内容		
13	猫種の理解①	猫の種類をボディタイプ別に分類し、代表的な猫種について学ぶ		
14	猫種の理解②	毛色、体型、原産国、などに絞って猫のレポートを作成し理解を深める。		
15	猫種の理解③	毛色、体型、原産国、などに絞って猫のレポートを作成し理解を深める。代表者の発表を行い、知識の共有を図る。		
教科書・教材		成績評価の方法	評価率	その他
愛玩動物看護師カリキュラム準拠 教科書6巻 『愛玩動物学』 (エデュワードプレス)		期末試験	100.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物医療コミュニケーション		動物看護学科/2年	2023/前期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	斉田 千春
授業の概要				
動物病院における接遇の基礎（笑顔の作り方、電話対応の方法、敬語の使い方、コミュニケーションの取り方）や日常健康管理に関わる飼い主教育をロールプレイングでの実習を取り入れながら習得する				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・接遇を学ぶことで動物看護師として状況に応じた対応ができ、飼い主と円滑なコミュニケーションを取ることができる ・動物看護師として適切な身だしなみや言葉遣いができ、飼い主に安心感を与えることができる ・適正飼育について理解し、健康管理のため必要な情報を飼い主に提供できる 				
実務経験有無	実務経験内容			
有	動物看護師として、動物病院に勤務			
時間外に必要な学修				
各講義で実施した内容をノートなどを使用して復習する				
回	テーマ	学修内容		
1	動物医療コミュニケーションについての説明、笑顔の効果	接遇・ホスピタリティとは何かを理解する。笑顔がもたらす効果、笑顔の練習をすることで表情管理の仕方を理解する		
2	適切な話し方、正しい敬語の使い方	適切な言葉遣い、正しい敬語の使い方について実習を行い理解する。		
3	再診受付	再診の対応（診察を受ける目的での来院対応）の仕方を実習を行うことで理解する		
4	初診の受付	初診の対応（診察を受ける目的での来院対応）の仕方を実習を行うことで理解する		
5	診察室への案内 待合室管理術	診察室への案内の実習を行い、待合室管理の仕方を理解する		
6	問診	主訴に合わせた問診すべき内容を学修し、問診の仕方を理解する		
7	薬の説明	相手に合わせた、相手が理解できる薬の説明の仕方を実習を行うことで理解する		
8	精算業務	迅速かつ丁寧な精算業務の仕方を理解する		
9	電話対応①	電話の出かた、取り次ぎ、対応中の姿勢など電話対応の基礎を実習を行うことで理解する		
10	電話対応②	様々な相手（クレーム、お悔やみ、業者など）の電話対応を学修し理解する		
11	緊急時の対応 不快感情の飼い主対応	緊急時の電話の受け方、待合室の飼い主への協力依頼の発話を学修し、理解する クレーム時の初動対応を学修し、理解する		
12	クライアントエデュケーション概論、 狂犬病予防接種、混合ワクチン接種	飼い主教育がなぜ必要か、どのように進めるのかを理解する。狂犬病の適切な予防法、混合ワクチンについて、飼い主への説明方法を学修し理解する		
13	フィラリア、ノミ・ダニ予防 避妊・去勢手術	フィラリア、ノミ・ダニの適切な予防法、避妊・去勢手術、デンタルケアについて、飼い主への説明方法を学修し理解する。		

14	まとめ①	これまでに身につけた知識を活用し、実技試験を行う		
15	まとめ②	これまでに身につけた知識を活用し、実技試験を行う		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
愛玩動物看護師カリキュラム準拠 教科書8巻 『動物医療コミュニケーション』 (エデュワードプレス)		期末試験	100.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物臨床看護学総論		動物看護学科/2年	2023/前期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	齊田 千春
授業の概要				
動物看護を系統的・科学的に行うために必要な動物看護過程の原理と方法について学修する。 動物看護管理の対象とその実践範囲について理解し、組織における良質な動物看護を提供するための知識を修得する。 終末期の動物と飼い主のケアの方法を学修する。				
授業終了後の到達目標				
動物看護過程の展開を理解し、動物看護を実施する際の基礎知識が身に付く 看護記録の扱い方や動物看護者の業務指針を理解できる ターミナルケア・グリーフケアの意義と目的を理解し、アプローチ方法が身に付く				
実務経験有無		実務経験内容		
有		動物看護師として、動物病院に勤務		
時間外に必要な学修				
各講義で実施した内容をノートなどを使用して復習すること				
回	テーマ	学修内容		
1	動物の看護過程展開①	なぜ動物の看護過程を学ぶ必要があるのかを考える。 アセスメントとは何か、実施する際に活用するSOAPモデルについて学ぶ		
2	動物の看護過程展開②	看護診断とは何か、獣医師の職務と区別して看護過程の中での診断の言葉の意味を理解する		
3	動物の看護過程展開③	看護計画とは何か、orpetとjeffryのアビリティーモデルについて理解する		
4	動物の看護過程展開④	看護実践と評価とは何か、誰もが理解できる正確な記録方法の必要性を理解する		
5	動物の看護過程展開⑤	事例を用いて、動物看護過程の各ステップでのポイントや、展開方法を理解する		
6	動物看護業務	チーム獣医療における動物看護師の役割、ケアの標準化、事故管理・防止システムについて理解する		
7	医療記録	診療記録と看護記録の違いを理解し、POS・POMRとその関連性について学ぶ		
8	動物看護記録 基礎知識	記録のために必要な知識と情報の取捨選択について、表や事例を用いて学修する		
9	動物看護記録 基本ルール	SOAPを使用しての記載例を参考に、それぞれに書く内容と目的を理解する		
10	動物看護記録 誤解を防ぐポイント	「動物看護実践基準」の6つの原則について学び、各項目の正しい記載方法を学修する		
11	動物看護記録 外来	初診と再診の動物看護記録の特徴をそれぞれの事例を見ながら学修し、外来時の看護師の役割と記録の必要性を理解する		
12	ターミナルケア	ターミナルケアの意義と目的、安楽死の意義、QOLやホスピス、緩和ケアについて理解する		
13	グリーフケア①	グリーフの心理プロセスと、生前に起こり得る状況別のグリーフに対するアプローチ方法を学修する		

回	テ ー マ	学修内容		
14	グリーフケア②	死後のグリーフケア、死亡した動物への対応、エンゼルケアについて学修する		
15	まとめ	確認問題を解き、解答解説を行ってこれまでの内容の理解度を把握し、総復習をする。		
教科書・教材		成績評価の方法	評価率	その他
愛玩動物看護師カリキュラム準拠 教科書9巻 『動物臨床看護学総論』 (エデュワードプレス)		期末試験	100.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物内科看護学Ⅱ		動物看護学科/2年	2023/前期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	中村 武文
授業の概要				
内科診療の補助に必要な器具や道具の扱い方に関する基礎知識と技術を学ぶ。採血・顕微鏡を使用する各検査・眼科・神経学的検査について理解する				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・内科看護学で学んだ知識を活かし、動物や検体・機材などを取り扱うための技術を身につける ・得られた検査結果を適切に処理・報告することができる 				
実務経験有無		実務経験内容		
有		動物看護師として動物病院に勤務し現在に至る		
時間外に必要な学修				
各講義で実施した内容をノートなどを使用して復習すること。				
回	テーマ	内容		
1	穿刺と吸引	シリンジ、針の扱い方及び管理方法について理解する。穿刺と吸引について理解する。		
2	採血	採血の目的と意義を学ぶ。採血時に必要な道具と手技を学ぶ。		
3	採血保定	採血に適した血管の名称と走行、特徴を学ぶ。各血管ごとに適した保定法および駆血方法を学ぶ。		
4	基本保定	基本保定の復習と再確認。 (立位、犬座位、伏臥位、横臥位)		
5	マイクロチップ	マイクロチップの意義と目的を学ぶ。マイクロチップの挿入方法と管理の仕組みについて学ぶ。		
6	顕微鏡	顕微鏡の各部名称とメカニズムを理解する。顕微鏡の操作法・取り扱い方を知る。		
7	糞便検査	糞便検査の目的と意義を学ぶ。検査に使用する顕微鏡などの機器、道具の扱い方と検査方法を学ぶ。		
8	尿検査	尿検査の目的と意義を学ぶ。検査に使用する試験紙、染色液、機器の扱い方と検査方法を学ぶ。		
9	耳の検査	耳の検査の目的と意義を学ぶ。検査に使用する耳鏡や顕微鏡などの機器の使い方と検査方法を学ぶ。		
10	皮膚検査	皮膚病変の観察と記録方法について学ぶ。皮膚掻爬試験・スタンプ検査・被毛検査などの検査について学ぶ。		
11	眼科	眼科検査の目的と意義を学ぶ。検査に使用する検眼鏡などの機器、道具の扱い方と検査方法を学ぶ。		
12	眼科②	各種検査方法（シルマーティア・フルオレセイン・眼底・眼圧検査等）について理解する。		
13	神経学的検査	神経の働きと構造を理解し神経学的検査の概要を知る。各種検査方法および記録評価法について理解する。		
14	薬浴	薬用シャンプーの種類および、それぞれの使用方法や注意点について理解する		

回	テ ー マ	内 容		
15	まとめ	授業内容の復習を行う		
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	愛玩動物看護師カリキュラム準拠 教科書7巻 『動物内科看護学』 (エデュワードプレス) 愛玩動物看護師カリキュラム準拠 動物看護実習テキスト 第3版	期末試験	100.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物内科看護学実習Ⅱ		動物看護学科/2年	2023/前期	実習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	中村 武文
授業の概要				
内科診療の補助に必要な器具や道具の扱い方に関する基礎知識と技術を学ぶ。採血・顕微鏡を使用するの各検査・眼科・神経学的検査について理解する				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・検査機器、器具を正しく使用する知識と技術を習得している。 ・検体を正しく処理、扱うことができる。 ・得られた検査結果を適切に処理・報告することができる。 				
実務経験有無		実務経験内容		
有		動物看護師として動物病院に勤務し現在に至る		
時間外に必要な学修				
各講義で実施した内容をノートなどを使用して復習すること。				
回	テーマ	内容		
1	穿刺と吸引	穿刺と吸引の道具の扱い方、手技を学ぶ。 穿刺吸引を行う場合の保定方法を学ぶ。		
2	基本保定	基本保定の復習と再確認をし、適切な保定を知る。 (立位、犬座位、伏臥位、横臥位)		
3	採血保定①	基本保定からの応用方法を学ぶ。 採血保定を身に付ける(外即伏在静脈・頸静脈)		
4	採血保定②	採血保定を身に付ける(橈側皮静脈・大腿静脈)		
5	マイクロチップ	マイクロチップの挿入に必要な道具、申請方法を知る。 マイクロチップ、リーダーの扱い方を学ぶ。		
6	顕微鏡の取り扱い	顕微鏡の正しい使用方法を理解し、操作法・取り扱い方を身に付ける。		
7	糞便検査	糞便検査を通して、検体の扱い方・顕微鏡の操作法・検査結果の記録方法・正常と異常の判別を理解する。		
8	尿検査	尿検査を通して、検体の扱い方・顕微鏡の操作法・検査結果の記録方法・正常と異常の判別を理解する。		
9	耳の検査	外耳道検査、耳垢検査を通して検体の扱い方・顕微鏡の操作法・検査結果の記録方法・正常と異常を理解する。		
10	皮膚検査	皮膚搔爬試験・スタンプ検査・皮膚生検等各種方法を学ぶ。 皮膚真菌症の検査方法や培養方法を理解する。		
11	眼科①	各種検査方法(シルマーティア・フルオレセイン・眼底・眼圧検査等)について理解し、注意点と保定法を学ぶ。		
12	眼科②	各種検査方法を模擬的に実践し、眼科検査時における注意点と保定法を学ぶ。		
13	神経学的検査	各種検査方法および記録評価法について理解する。		
14	薬浴①	薬用シャンプーごとの使用方法、特徴を理解する。		

回	テーマ	内容		
15	薬浴②	薬用シャンプーを使用して薬浴を実践する。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
愛玩動物看護師カリキュラム準拠 教科書7巻 『動物内科看護学』 (エデュワードプレス) 愛玩動物看護師カリキュラム準拠 動物看護実習テキスト 第3版		期末試験	100.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物外科看護学		動物看護学科/2年	2023/通年	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	30回	60単位時間	必須	中山小百合
授業の概要				
外科診療の補助に必要な基礎知識を学び、術前準備から術中補助、術後管理までの流れを系統的に理解し安全な手術の実施に必要な知識を修得する				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・手術の際に使用する器具機材を理解して、術前の準備ができるようになる。 ・基本的な手術の流れを理解し、手術補助に入る際に行うべきことや注意点を理解する。 ・麻酔器の仕組みと麻酔管理で補助すべき内容を理解する。 ・術後管理の手順や注意点を理解する、救急救命法の内容を理解する。 				
実務経験有無		実務経験内容		
有		薬品会社にて研究員として勤務		
時間外に必要な学修				
テキストや授業のノートをもとに復習し理解を深める				
回	テーマ	内容		
1	動物外科看護総論	動物外科看護における動物看護師の役割を理解する動物外科看護における動物看護師の役割を理解する		
2	手術器具の基礎知識①	鑷子、鉗子、持針器の名称と特徴、使用目的、正しい使用方法を理解する		
3	手術器具の基礎知識②	一般的な手術器具の名称と特徴を理解し、それぞれの使用目的に合わせて適切に扱えるようにする		
4	縫合針・縫合糸	縫合針および縫合糸の種類や特徴を理解し、用途に応じて使用できるようにする		
5	手術器具試験	手術器具の試験を行い、学生の理解度を確認する		
6	消毒と滅菌	無菌操作の重要性を理解し、滅菌方法および消毒薬を学習する		
7	術者の準備	帽子・マスクを必ず着用し、身なりを整え、無菌的にガウンの着用とグローブの装着を行う		
8	術野の消毒法	術野及び周辺皮膚を含めて、可能な限り微生物の数を減らすために行う術野の消毒法を学習する		
9	気管挿管の準備・手順	気管挿管に必要な準備物を用意し、手順を理解した上で処置者の補助ができるようにする		
10	血管確保の準備・手順	血管確保に必要な準備物を用意し、手順を理解した上で処置者の補助ができるようにする		
11	輸液①	輸液の目的を理解し、必要な準備ができるようにする		
12	輸液②	輸液中の観察、輸液中の警報、脱水時の輸液量の計算および輸液速度の計算について学習する		
13	炎症	炎症とは何か、またその徴候を理解する		
14	包帯法・褥瘡	褥瘡とは何かを理解しその予防法を学習する。また包帯の目的と方法を学習する		

回	テ ー マ	内 容		
15	骨折	骨折とは何かを理解し、骨折の分類を学習する。また骨折の臨床症状について学習する		
16	麻酔とは何か	麻酔の定義を知り、なぜ手術に麻酔が必要か理解する。また、麻酔の目的と基本的考え方を理解する		
17	周術期の麻酔	麻酔前投与薬および導入麻酔を行う意義を理解し、注射麻酔および吸入麻酔について学習する		
18	術後管理	動物の術後管理について学ぶ		
19	疼痛管理	痛みの定義を知り、痛みの程度を評価する方法を身につける。また状況に応じた疼痛管理を理解する		
20	モニタリング①	五感をつかったモニタリング、麻酔モニター項目について学習する		
21	モニタリング②	循環器系・呼吸器系のモニタリング項目について、各々その意義と正常値、異常値について説明し、理解する		
22	麻酔装置およびモニタリングの試験	麻酔器およびモニタリングについて試験を行い、学生の理解度を確認する		
23	手術室の準備および術中補助	手術室の準備の確認を行い、手術の直接補助および間接補助の内容について理解する		
24	外科手術	卵巣子宮摘出術、去勢手術を中心に外科手術を行う上で手術に必要な知識を修得する		
25	救急救命法	エマージェンシーの原因、病態について学習し、一次および二次救命処置について理解する。		
26	理学療法	理学療法の目的と意義について理解する。代表的な理学療法の原理、手技について理解する		
27	ラット解剖	ラットを用いて模擬去勢手術を実施し、その後ラットの解剖を行い体内の臓器及び骨等を観察する		
28	ラット解剖	ラットを用いて模擬去勢手術を実施し、その後ラットの解剖を行い体内の臓器及び骨等を観察する		
29	薬理実習	調剤に必要な基礎知識および調剤法を修得する		
30	歯科処置	歯についての基礎知識を得る。また代表的な歯科器具の名称、使用法を理解する		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書8巻 『動物外科看護学』（エデュワードプレス）		期末試験	100.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物外科看護学実習		動物看護学科/2年	2023/通年	実習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	45回	90単位時間	必須	中山小百合
授業の概要				
外科診療の補助に必要な基礎知識を学び、術前準備から術中補助、術後管理までの流れを系統的に理解し安全な手術の実施に必要な知識を修得す。創傷管理および理学療法の実施に必要な知識を修得する				
到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な手術の流れを理解し手術補助に入る際に行うべきことや注意点を理解する。 ・麻酔器の仕組みや補助すべき内容を理し、麻酔管理やモニタリングを十分に行えるようにする。 ・術後管理の手順や注意点を理解する。救急救命法の内容を理解する。 ・創傷管理および理学療法の実施に必要な知識を修得する。 				
実務経験有無		実務経験内容		
有		薬品会社にて研究員として勤務		
時間外に必要な学修				
各講義で実施した内容をノートなどを使用して復習すること				
回	テーマ	内容		
1	手術器具の基礎知識①	メス・剪刀の名称と特徴、使用目的、使用方法正しい使用方法を理解する		
2	手術器具の基礎知識②	鑷子、鉗子、持針器の名称と特徴、使用目的、正しい使用方法を理解する		
3	手術器具の基礎知識③	その他の手術器具の名称と特徴、使用目的、正しい使用方法を理解する理解る		
4	縫合針・縫合糸	縫合針および縫合糸の取り扱いを修得する		
5	手指の消毒	手術前に手指を清潔に保つ必要があることを理解し、スクラブ法とラビング法を学び、その手順を修得する		
6	滅菌準備	滅菌準備方法を学習し、リネン類・タオル・手術着およびドレープを用いた手術器具のたたみ方を習得する		
7	術者の準備	帽子・マスク、ガウンおよびグローブの装着法を修得する		
8	術野の消毒法	術野及び周辺皮膚を含めて、可能な限り微生物の数を減らすために行う術野の消毒法を修得する		
9	気管挿管の準備・手順	気管挿管に必要な準備物を用意し、手順を理解した上で処置者の補助ができるようにする		
10	血管確保の準備・手順	血管確保に必要な準備物を用意し、手順を理解した上で処置者の補助ができるようにする		
11	輸液ラインの接続法	輸液の目的を理解し、必要な準備ができるようにする		
12	輸液ポンプの使用法	輸液ポンプの接続および設定ができるようにする。また警報に対して対処できるようにする		
13	創傷管理	創傷の種類と治癒過程、治癒形式、管理方法を学習する		

回	テーマ	内 容		
14	包帯法	基本的な包帯法を修得する		
15	骨折	骨折の治癒過程および治療法を学習する		
16～ 17	術前検査、麻酔リスクの評価(ASA評価)	麻酔をかける前にその動物が安全に麻酔をかけられるかどうかきちんと評価する。飼い主への説明をする		
18～ 19	周術期の麻酔	術中麻酔及び覚醒について学習し、動物の麻酔深度および覚醒の目安とリスクを理解する。		
20～ 21	麻酔装置①	麻酔の呼吸回路について理解し、麻酔器の各部名称を理解する		
22～ 23	麻酔装置②	麻酔器の各部名称や使用法を理解し、指示に従って操作できる		
24～ 25	モニタリング①	循環器系のモニタリング項目について学習し、モニター機器の装着・モニター画面の解読が出来るようにする。		
26～ 27	モニタリング②	呼吸器系のモニター項目、麻酔監視項目の監視方法、意義について理解する		
28～ 29	麻酔記録の取り方、まとめ	モニタリングのまとめを行い、異常時の対処法を学習する。麻酔記録をとる意義とその書き方を覚える		
30～ 31	手術の準備および術中補助	手術の準備の確認、手術の直接補助および間接補助の内容について模擬手術を行い理解する		
32～ 33	外科手術	卵巣子宮摘出術および去勢手術のDVDを視聴し、実際の手術を理解する		
34～ 35	救急救命法	救急救命に関する処置を理解し、緊急時に適切かつ速やかな対応が取れるようにする		
36～ 37	整形外科疾患	理学療法の対象疾患である整形外科疾患について、それぞれの特徴を理解する		
38～ 39	ラット解剖	ラットを用いて模擬去勢手術を実施し、その後ラットの解剖を行い体内の臓器及び骨等を観察する		
40～ 41	ラット解剖	ラットを用いて模擬去勢手術を実施し、その後ラットの解剖を行い体内の臓器及び骨等を観察する		
42～ 43	薬理実習	調剤に必要な基礎知識および調剤法を修得する		
44～ 45	まとめ	外科実習について、今までのまとめを行い、理解度を確認する		
		成績評価の方法	評価率	その他
愛玩動物看護師カリキュラム準拠 教科書8巻 『動物外科看護学実習』 (エデュワードプレス)		期末試験	100%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物薬理学		動物看護学科/2年	2023/通年	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	30回	60単位時間	必須	中山 小百合
授業の概要				
代表的な薬物の体内動態と作用機序、臨床応用および作用について学び、動物の疾病の診断や治療にどのように用いられているか理解する。また薬物の取り扱いや保存方法を習得し、投薬量の計算ができるようになる。				
授業終了時の到達目標				
・薬物の体内動態と作用機序、臨床応用および作用が動物の疾病の診断や治療にどのように用いられているか説明ができる。 ・獣医師より処方された薬物の薬理作用および副作用を動物看護師が十分に理解し、調剤できるようにする。 ・飼い主に服薬指導などができるように薬理学の各論を理解する。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		薬品会社にて研究員として勤務		
時間外に必要な学修				
各講義で実施した内容をノートなどを使用して復習すること				
回	テーマ	内容		
1	薬物動態（吸収、分布）	薬理学を学ぶ意義、目的を知る。生体内に吸収された薬物は血流によって全身の臓器に分布することを図解を用いて理解する		
2	薬物動態（代謝、排泄）	体内に吸収された薬物が、どのように代謝され、排泄されるか臓器や器官ごとに理解する		
3	薬物の効果に影響を与える因子	薬物間の協力作用、拮抗作用、耐性、血中半減期などの相互作用について理解する		
4	薬物の投与経路	薬物の投与経路の種類と、各投与経路の特徴（長所と短所）を理解する		
5	医薬品	医薬品の分類（医療用医薬品、OTC医薬品など）を学ぶ。医薬品の薬剤管理、関係法律を学ぶ		
6	薬物の剤型、投与量の計算	薬物の剤型におけるメリットやデメリット、種類を学ぶ。処方箋に用いられる調剤用語、薬用量の計算方法を学習する		
7	神経系に作用する薬物	神経系の仕組みを理解し、交感神経と副交感神経の作用を学ぶ		
8	自律神経作動薬、神経筋遮断薬、局所麻酔薬	自律神経および運動神経に作用する薬物、局所麻酔薬に使用される薬剤の種類や効果を学ぶ		
9	全身麻酔薬（注射麻酔薬）	全身麻酔薬の注射麻酔薬について、薬物動態、種類、名前および特徴を学ぶ		
10	全身麻酔薬（吸入麻酔薬）	全身麻酔薬の吸入麻酔薬について、薬物動態、種類、名前および特徴を学ぶ		
11	精神安定薬、鎮静薬、鎮痛薬、抗痙攣薬、行動異常の治療薬	薬物の名前、特徴及び作用メカニズムを理解する		
12	抗菌薬とは何か	抗菌薬の種類とその特性を理解する		
13	抗菌薬の作用メカニズム、βラクタム系抗菌薬	抗菌薬の作用メカニズムを学習する。βラクタム系の抗菌薬の名前および特徴を学ぶ		

回	テーマ	内容		
14	抗菌薬	βラクマイン, アミノグリコシド, キノロン系, テトラサイクリン, グラムフェニコール, マクロライド, リンコサミド, サファ剤の薬剤の名前および特徴を学ぶ		
15	抗真菌薬	抗真菌薬の名前および特徴を学ぶ		
16	外部寄生虫駆虫薬	外部寄生虫駆虫薬の名前および特徴について理解する。また外部寄生虫の種類や感染経路などを復習する		
17	内部寄生虫駆虫薬	内部寄生虫駆虫薬の名前および特徴について理解する。また内部寄生虫の種類や感染経路などを復習する		
18	抗フィラリア薬	フィラリアのライフサイクルを覚え、犬系状虫の駆虫、予防薬の名前、副作用および投与方法などについて理解する		
19	循環器・泌尿器に作用する薬物①	心不全治療薬、抗不整脈薬の名前および特徴について理解する		
20	循環器・泌尿器に作用する薬物②	利尿薬、呼吸興奮薬、鎮咳薬、去痰薬、気管支拡張薬の名前および特徴について理解する		
21	呼吸器系に作用する薬物	呼吸興奮薬、鎮咳薬、去痰薬、気管支拡張薬の名前および特徴について理解する		
22	消化器に作用する薬物①	制吐薬、催吐薬、胃酸分泌抑制薬、制酸薬、消化管粘膜保護剤の名前および特徴について理解する		
23	消化器に作用する薬物②および肝疾患、胆道疾患の治療薬	消化管運動促進薬、止瀉薬、瀉下薬、肝疾患、胆道疾患の治療薬の名前および特徴について理解する		
24	オータコイド	代表的なオータコイド（ホルモン、神経伝達物質を除く微量で生理・薬理作用を示す生理活性物質）について理解する		
25	内分泌系の薬物	治療薬として使用される内分泌薬の名前および特徴について理解する		
26	抗炎症薬（ステロイドホルモン）	炎症のメカニズムを理解し、炎症メディエーターについて学習する。ステロイドホルモンの作用、薬品名、副作用について理解する		
27	抗炎症薬（非ステロイド性抗炎症薬）、免疫抑制薬	ステロイド性抗炎症薬、免疫抑制薬の名前および特徴について理解する		
28	血液系に作用する薬物	治療薬として使用される薬物の名前および特徴について理解する		
29	抗癌剤	抗癌剤の作用メカニズム、薬物の名前および特徴について理解する。抗癌剤の使い方と注意点を理解する		
30	まとめ	前期、後期で学んだ神経系から抗癌剤までの薬物の復習をグラフや表を作成してまとめを行う		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
愛玩動物看護師カリキュラム準拠 教科書2巻 『動物薬理学』 (エデュワードプレス)		期末試験	100.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物臨床看護学各論		動物看護学科/2年	2023/通年	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	60回	120単位時間	必須	阿部 隆樹
授業の概要				
犬猫の主要な疾患の病態生理を学び、臓器ごとの機序及び機能障害や症状、検査の種類、治療法の概略を学修する。				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・各疾患に関連する検査法や治療法に関する基本的知識を身につける ・様々な疾患の病理生態を理解し説明することができる ・機能障害をもつ動物に対してどのような看護を提供すべきか、評価と介入の方法について理解することができる。 				
実務経験有無		実務経験内容		
有		動物病院で獣医師として勤務 地方公務員獣医師として勤務		
時間外に必要な学修				
各講義で実施した内容をノートなどを使用して復習すること				
回	テーマ	内容		
1~2	皮膚科疾患 皮膚の代表的な疾患①	犬猫の（膿皮症やアレルギー性皮膚炎などの）主要な皮膚疾患の機序及び症状、治療法を学修し理解する。		
3~4	皮膚科疾患 皮膚の代表的な疾患②	犬猫の（膿皮症やアレルギー性皮膚炎などの）主要な皮膚疾患の機序及び診断、検査方法を学修し理解する。		
5~6	感覚器科系疾患① 皮膚および皮下織の腫瘍	犬猫の皮膚及び皮下織に発生する主な腫瘍の種類、発生機序及び症状、診断・検査法、治療法を学修し理解する。		
7~8	腫瘍① 総論・リンパ腫	犬猫の全身に発生する各種腫瘍、リンパ腫の主な種類、発生部位及び症状、診断・検査法、治療法を学修し理解する。		
9~10	腫瘍② 肥満細胞腫	犬猫の全身に発生する肥満細胞腫の主な発生部位及び症状、診断・検査法、治療法を学修し理解する。		
11~12	血液疾患① 血球系・脾臓	各種血球系及び脾臓疾患の機序及び症状、診断・検査法、治療法を学修し理解する。		
13~14	血液疾患② 凝固系	血液の凝固系疾患について、機序及び症状、診断・検査法、治療法を学修し理解する。		
15~16	感覚器系疾患② 眼	眼科疾患の機序及び症状、診断・検査法、治療法を学修し理解する。		
17~18	皮膚・感覚器科系疾患③ 耳	犬猫の耳介、外・中・内耳に関わる疾患の機序及び症状、診断・検査法、治療法を学修し理解する。		
19~20	筋肉、骨格系および整形外科疾患① 筋肉・骨格・関節	筋肉、骨格、関節疾患の機序及び症状、診断・検査法、治療法を学修し理解する。		
21~22	筋肉、骨格系および整形外科疾患② 骨折	骨折の種類、機序及び症状、診断・検査法、治療法を学修し理解する。		
23~24	脳神経系 ①脳・脊髄の代表的な疾患	脳・脊髄の代表的な疾患の機序及び症状、診断・検査法、治療法を学修し理解する。		
25~26	脳神経系 ②脳・脊髄の代表的な疾患	脳・脊髄の代表的な疾患の機序及び症状、診断・検査法、治療法を学修し理解する。		
27~28	内分泌系疾患① 副腎・生殖器・その他	副腎、生殖器、その他の主な内分泌疾患の機序及び症状、診断・検査法、治療法を学修し理解する。		

回	テーマ	内容		
29～30	消化器系疾患①口腔・食道	口腔、食道の主な疾患の機序及び症状、診断・検査法、治療法を学修し理解する。		
31～32	消化器系疾患②胃・小腸・大腸・肛門	胃、小腸、大腸及び肛門の主な疾患の機序及び症状、診断・検査法、治療法を学修し理解する。		
33～34	消化器系疾患③肝臓、胆嚢	肝臓、胆嚢の主な疾患の機序及び症状、診断・検査法、治療法を学修し理解する。		
35～36	消化器系疾患④膵臓、腹腔、腹膜	膵臓、腹腔、腹膜の主な疾患の機序及び症状、診断・検査法、治療法を学修し理解する。		
37～38	循環器疾患①先天性疾患	循環器の主な先天性疾患の機序及び症状、診断・検査法、治療法を学修し理解する。		
39～40	循環器疾患②後天性疾患(1)	循環器の主な後天性疾患の疾患の機序及び症状、診断・検査法、治療法を学修し理解する。		
41～42	循環器疾患②後天性疾患(2)	循環器の主な後天性循環器の疾患の機序及び症状、診断・検査法、治療法を学修し理解する。		
43～44	泌尿器系疾患(1)	主な泌尿器系疾患の機序及び症状、診断・検査法、治療法を学修し理解する。		
45～46	泌尿器系疾患(2)	主な泌尿器系疾患の機序及び症状、診断・検査法、治療法を学修し理解する。		
47～48	生殖器系・新生児・遺伝性疾患	生殖器系、新生児及び遺伝性各疾患の機序及び症状、診断・検査法、治療法を学修し理解する。		
49～50	呼吸器系疾患	主な呼吸器系疾患の機序及び症状、診断・検査法、治療法を学修し理解する。		
51～52	感染性疾患 ウイルス性・細菌性・消毒①	ウイルスと細菌による主な感染性疾患の病原体、感染経路、症状、検査法、治療法、予防法、又、消毒の原理、種類、方法についても学修し理解する。		
53～54	感染性疾患 ウイルス性・細菌性・消毒②	ウイルスと細菌による主な感染性疾患の病原体、感染経路、症状、検査法、治療法、予防法、又、消毒の原理、種類、方法についても学修し理解する。		
55～56	感染性疾患 ウイルス性・細菌性・消毒③	ウイルスと細菌による主な感染性疾患の病原体、感染経路、症状、検査法、治療法、予防法、又、消毒の原理、種類、方法についても学修し理解する。		
57～58	感染性疾患 寄生虫性	主な寄生虫性疾患の病原体、感染経路、症状、検査法、治療法について学修し理解する。		
59～60	人獣共通伝染病・家畜伝染病	人獣共通伝染病、家畜伝染病の主な疾患の病原体、感染経路、症状、検査法、治療法、予防法について学修し理解する。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
愛玩動物看護師カリキュラム準拠 教科書9巻 『動物薬理学』 (エデュワードプレス)		期末試験	100.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物内科看護学Ⅲ		動物看護学科/2年	2023/後期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	横田 真早子
授業の概要				
内科診療の補助に必要な器具や道具の扱い方に関する基礎知識と技術を学ぶ。 X線やCT・MRI検査、心電図検査、超音波検査、内視鏡検査について理解する。 輸血に関する知識と検査方法を理解する。				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> 各検査方法の意義や方法を理解する 各検査に必要な道具や事前準備の仕方、注意点を理解する 各動物の血液型、輸血の適応とそのリスクを理解する。 				
実務経験有無		実務経験内容		
有		動物病院で獣医師として勤務		
時間外に必要な学修				
各講義で実施した内容をノートなどを使用して復習すること。				
回	テーマ	内容		
1	X線検査①	X線検査の目的と意義について理解する X線検査の対象となる疾患等について知る		
2	X線検査②	放射線関連の法律と防具服の特徴や使用方法、注意点について理解する		
3	X線検査③	X線検査の実施方法と、それぞれの体位について理解する		
4	X線検査④	造影・透視検査について理解する フィルムの現像やデジタルX線撮影について理解する		
5	CT・MRI検査	CT・MRIの概要について知り、対象となる疾患や注意点等について理解する		
6	超音波検査①	超音波検査の目的と実施方法について理解する		
7	超音波検査②	超音波検査での確認方法、注意点を知り保定方法や体位について理解する		
8	超音波検査③	超音波検査での各モード（Bモード・Mモード・ドップラー方法）について理解する		
9	心電図①	心電図検査の目的と意義について理解する		
10	心電図②	心電図検査の実施方法と注意点について理解する		
11	心電図③	血圧測定の方法と意義、注意点について理解する		
12	内視鏡検査①	内視鏡検査の目的と意義について知り、実施方法と事前準備について理解する		
13	内視鏡検査②	スコープの洗浄方法や消毒方法について理解する		
14	輸血①	輸血の適応とリスクについて知り、輸血計画の実施について理解する		

回	テ ー マ	内 容		
15	輸血②	クロスマッチ試験と血液型について知り、輸液による副反応について理解する		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
愛玩動物看護師カリキュラム準拠 教科書7巻 『動物内科看護学』 (エデュワードプレス) 愛玩動物看護師カリキュラム準拠 動物看護実習テキスト 第3版		期末試験	100.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物内科看護学実習Ⅲ		動物看護学科/2年	2023/後期	実習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	30回	60単位時間	必須	横田 真早子
授業の概要				
内科診療の補助に必要な器具や道具の扱い方に関する基礎知識と技術を学ぶ。 X線やCT・MRI検査、心電図検査、超音波検査、内視鏡検査について理解する。 輸血に関する知識と検査方法を理解する。				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> 各検査方法の行い方について実習を行い理解を深める 各検査に必要な道具や事前準備の仕方を学び理解を深める 輸血の際に必要な検査方法について実習を行い実践できるようになる 				
実務経験有無		実務経験内容		
有		動物病院で獣医師として勤務		
時間外に必要な学修				
各講義で実施した内容をノートなどを使用して復習すること。				
回	テーマ	内容		
1~2	X線検査①	X線検査の目的と意義について理解する X線検査の対象となる疾患等について実習を行う		
3~4	X線検査②	放射線関連の法律と防具服の特徴や使用方法、注意点について理解し実習を行う		
5~6	X線検査③	X線検査の実施方法と、それぞれの体位について理解し実習を行う		
7~8	X線検査④	造影・透視検査について理解する フィルムの現像やデジタルX線撮影について実習を行う		
9~10	CT・MRI検査	CT・MRIの概要について知り、対象となる疾患や注意点等について実習を行い理解する		
11~12	超音波検査①	超音波検査の目的と実施方法について実習を行い理解する		
13~14	超音波検査②	超音波検査での確認方法、注意点を知り保定方法や体位について実習を行い理解する		
15~16	超音波検査③	超音波検査での各モード（Bモード・Mモード・ドップラー方法）について実習を行い理解する		
17~18	心電図①	心電図検査の目的と意義について実習を行い理解する		
19~20	心電図②	心電図検査の実施方法と注意点について実習を行い理解する		
21~22	心電図③	血圧測定の方法と意義、注意点について実習を行い理解する		
23~24	内視鏡検査①	内視鏡検査の目的と意義について知り、実施方法と事前準備について実習を行い理解する		
25~26	内視鏡検査②	スコープの洗浄方法や消毒方法について実習を行い理解する		
27~28	輸血①	輸血の適応とリスクについて知り、輸血計画の実施について実習を行い理解する		

回	テ ー マ	内 容		
29~ 30	輸血②	クロスマッチ試験と血液型について知り、輸液による副反応について実習を行い理解する		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
愛玩動物看護師カリキュラム準拠 教科書7巻 『動物内科看護学』 (エデュワードプレス) 愛玩動物看護師カリキュラム準拠 動物看護実習テキスト 第3版		期末試験	100.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物臨床栄養学Ⅱ		動物看護学科/2年	2023/後期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	横山 歩
授業の概要				
犬・猫の健康管理に必要な栄養の基礎知識（例：六大栄養素の種類、犬猫の食性、ライフステージ、ペットフードに関する法律、犬猫に与えてはいけない食材 など）を習得する				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・強制給餌法の種類と処置の方法を理解する ・疾患ごとの特徴とそれらの動物に対しての栄養管理法を理解する ・個体に応じた適切な栄養管理とそのアドバイスができるようになる 				
実務経験有無		実務経験内容		
有		動物病院で動物看護師兼トリマーとして勤務		
時間外に必要な学修				
テキストや授業のノートをもとに復習し理解を深める				
回	テーマ	内容		
1	強制給餌法	入院動物に対しておこなう経管・静脈による栄養管理の方法を理解する		
2	疾患ごとの栄養管理（減量）①	犬猫においてBCSの評価法を学び、減量の具体的な方法、減量に必要な療法食について理解する		
3	疾患ごとの栄養管理（減量）②	ダイエットプログラムの組み立て方を理解し、目標体重やエネルギー要求量の算定を行う		
4	疾患ごとの栄養管理（皮膚）①	犬猫におけるアレルギー性皮膚炎（アトピー性皮膚炎、食物アレルギー）の病態について理解する		
5	疾患ごとの栄養管理（皮膚）②	犬猫のアレルギー性皮膚炎に対する栄養管理の方法、療法食について理解する		
6	疾患ごとの栄養管理（心臓）①	犬猫に多い心疾患（弁膜症、心筋症など）の病態について理解する		
7	疾患ごとの栄養管理（心臓）②	犬猫に多い心疾患（弁膜症、心筋症など）に対する栄養管理の方法や療法食について理解する		
8	疾患ごとの栄養管理（腎臓）①	犬猫に多い腎疾患（慢性・急性腎不全など）の病態について理解する		
9	疾患ごとの栄養管理（腎臓）②	慢性腎疾患（腎不全など）に対する栄養管理の方法と療法食について理解する		
10	疾患ごとの栄養管理（肝臓）	犬猫に多い肝疾患（門脈体循環シャントなど）を学び、疾患に対する栄養管理の方法と療法食について理解する		
11	疾患ごとの栄養管理（泌尿器）①	犬猫に多い泌尿器疾患（下部尿路疾患など）の病態を学び、尿石症の種類について理解する		
12	疾患ごとの栄養管理（泌尿器）②	犬猫に多い泌尿器疾患（下部尿路疾患など）に対する栄養管理の方法、療法食について理解する		
13	疾患ごとの栄養管理（消化器）①	消化器疾患（下痢・嘔吐など）の病態について理解する		
14	疾患ごとの栄養管理（消化器）②	消化器疾患（下痢・嘔吐など）に対する栄養管理の方法と療法食について理解する		

回	テ ー マ	内 容		
15	疾患ごとの栄養管理（膵臓）	糖尿病に対する栄養管理の方法と療法食について理解する		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
愛玩動物看護師カリキュラム準拠 教科書8巻 『動物栄養学』 (エデュワードプレス)		期末試験	100.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物臨床看護学実習		動物看護学科/2年	2023/前期	実習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	30回	60単位時間	必須	齊田 千春
授業の概要				
動物看護記録の取り方、表記方法を学ぶ 動物看護過程や疾患別の看護など、動物臨床看護学で学んだ知識の実践力を修得する。				
授業終了後の到達目標				
動物看護記録・動物看護計画の記載方法と必要な留意点を理解し、作成できる。 入院動物の管理、疾患又は症状別の看護を行える				
実務経験有無	実務経験内容			
有	動物看護師として、動物病院に勤務			
時間外に必要な学修				
各講義で実施した内容をノートなどを使用して復習すること				
回	テーマ	学修内容		
1~2	動物看護過程の実践①	事例を元にアセスメントを行い、思考過程用紙に記入する		
3~4	動物看護過程の実践②	事例を元に疾患別の基礎知識を確認し、看護上の問題点を抽出し、看護計画用紙に記入する		
5~6	動物看護過程の実践③	事例を元に看護目標を設定し、観察項目を挙げてから看護計画を立案し、看護計画用紙に記入する		
7~8	動物看護過程の実践④ グループワーク	設定した各疾患ごとに動物看護過程を展開し、看護計画用紙を作成する		
9~10	動物看護過程の実践⑤ グループワーク	各班まとめを行い発表を行う		
11~12	動物看護実践①	さまざまな事例を想定し、動物看護記録の記入のやり方についてトレーニングを行う		
13~14	動物看護実践②	さまざまな事例を想定し、動物看護記録の記入のやり方についてトレーニングを行う		
15~16	リハビリテーション	リハビリテーションとは何か、目的や適応症例を理解し、リハビリ方法を学修する（リハビリテーション施設の見学）		
17~18	入院動物看護①	廃棄物の処理方法、バイオハザードマーク、主な感染源について理解し、手指洗浄法や診察台の消毒法を学修する		
19~20	入院動物看護②	入院ケージの清掃の手順、院内清掃のポイント、入院から退院までの流れを学ぶ		
21~22	入院動物看護③ グループワーク	さまざまな事例を想定し、グループに分かれて入院室を準備してみる		
23~24	食事管理	実際の器具やフードを使用した実習を通して、強制給餌の手順を理解する		
25~26	痛みの評価	痛みのメカニズムや分類、痛みの出る疾患、急性痛と慢性痛の違いとそれに沿った看護について学修する		

回	テ ー マ	学修内容		
27～ 28	高齢動物管理	加齢に伴う介助と、褥瘡管理等の具体的な対処法を学ぶ お悔やみ文の文章を考え、実際に作成してみる		
29～ 30	まとめ	確認問題を解き、解答解説を行ってこれまでの内容の理解度を把握し、総復習をする。		
教科書・教材		成績評価の方法	評価率	その他
愛玩動物看護師カリキュラム準拠 教科書9巻 『動物臨床看護学総論』 (エデュワードプレス) 愛玩動物看護師カリキュラム準拠 動物看護実習テキスト 第3版		期末試験	100.0%	

科目名		学科／学年	年度／時期	授業形態
国家試験対策		動物看護学科/2年	2023/後期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	60回	120単位時間	必須	横山 歩
授業の概要				
<p>国家資格化される「愛玩動物看護師」資格は、動物医療現場の高度化・多様化に伴い、獣医師と連携を高めることや医療体制強化、動物看護師の業務拡大を目的に誕生した資格である。この授業では国家資格予想問題および前年度まで実施されていた動物看護師統一認定試験の過去問を解き、形態学などの基礎知識から疾患学などの応用知識を総合的に修得し、出題傾向の把握と設問に対する理解力、適切な解答を導くための知識を修得する。</p>				
授業終了時の到達目標				
<p>時間配分や点数目標を立てながら学習し、自己学習を継続することができる 苦手分野を把握し、弱点強化をすることができる 模擬試験を行うことで、本番への対応力が身に付く</p>				
実務経験有無		実務経験内容		
無				
時間外に必要な学修				
各講義で実施した内容をノートなどを使用して復習すること				
回	テーマ		内容	
1～2	愛玩動物看護師国家資格の概要理解 基礎動物看護学Ⅰ 一般問題①		愛玩動物看護師国家資格の設立経緯、試験時期、試験構成、試験分野の説明を行い、試験概要を理解する。 形態機能学・病理学の一般問題を解き、解答解説をノートにまとめて理解する	
3～4	基礎動物看護学Ⅰ 一般問題②		薬理学、動物遺伝学、動物行動学、放射線学、免疫学、微生物学の一般問題を解き、解答解説をノートにまとめて理解する	
5～6	基礎動物看護学Ⅰ 一般問題④ 理解度確認問題		寄生虫学、公衆衛生学、毒性学、繁殖学、野生動物学の一般問題を解き、解答解説をノートにまとめて理解する 基礎動物看護学Ⅰの一般問題を試験形式で解き、理解度の確認、復習を行う	
7～8	基礎動物看護学Ⅰ 復習 基礎動物看護学Ⅱ 一般問題①		基礎動物看護学Ⅰ理解度確認問題の復習を行う 動物看護の基礎概念・職業倫理、動物福祉・関連法規の一般問題を解き、解答解説をノートにまとめて理解する	
9～10	基礎動物看護学Ⅱ 一般問題② 一般問題③		動物看護の展開、共通の基礎看護技術、診療に伴う動物看護技術の一般問題を解き、解答解説をノートにまとめて理解する	
11～12	基礎動物看護学Ⅱ 理解度確認問題 復習		基礎動物看護学Ⅱの一般問題を試験形式で解き、理解度の確認、復習を行う	
13～14	基礎動物看護学Ⅰ・Ⅱ 実地問題① 実地問題②		基礎動物看護学Ⅰ・Ⅱの実地問題を解き、解答解説をノートにまとめて理解する	
15～16	応用動物看護学Ⅰ 一般問題① 一般問題②		受付業務から動物栄養学、救命救急時の動物看護からシニアの看護までの一般問題を解き、解答解説をノートにまとめて理解する	
17～18	応用動物看護学Ⅰ 理解度確認問題 復習		応用動物看護学Ⅰの一般問題を試験形式で解き、理解度の確認、復習を行う	
19～20	応用動物看護学Ⅱ 一般問題① 一般問題②		内科系疾患から呼吸器疾患、脳・神経疾患から耳鼻咽喉疾患までの一般問題を解き、解答解説をノートにまとめて理解する	
21～22	応用動物看護学Ⅱ 理解度確認問題 復習		応用動物看護学Ⅱの一般問題を試験形式で解き、理解度の確認、復習を行う	

回	テ ー マ	内 容		
23～ 24	応用動物看護学Ⅰ・Ⅱ 実地問題① 実地問題②	応用動物看護学Ⅰ・Ⅱの実地問題を解き、解答解説をノートにまとめて理解する		
25～ 26	予想模擬試験① 一般問題・実地問題	作成した予想問題で模擬試験を行い、現段階での実力を把握する（一般問題、実地問題）		
27～ 28	模擬試験復習	予想模擬問題①の解説および復習を行う		
29～ 30	模擬試験復習	不正解の問題で、再度試験を行い理解度を確認する 再試験の復習を行う		
31～ 32	予想模擬試験② 一般問題・実地問題	作成した予想問題で模擬試験を行い、現段階での実力を把握する（一般問題、実地問題）		
33～ 34	模擬試験復習	予想模擬問題②の解説および復習を行う		
35～ 36	模擬試験復習	不正解の問題で、再度試験を行い理解度を確認する 再試験の復習を行う		
37～ 38	予想模擬試験③ 一般問題・実地問題	作成した予想問題で模擬試験を行い、現段階での実力を把握する（一般問題、実地問題）		
39～ 40	模擬試験復習	予想模擬問題③の解説および復習を行う		
41～ 42	模擬試験復習	不正解の問題で、再度試験を行い理解度を確認する 再試験の復習を行う		
43～ 44	予想模擬試験④ 一般問題・実地問題	作成した予想問題で模擬試験を行い、現段階での実力を把握する（一般問題、実地問題）		
45～ 46	模擬試験復習	予想模擬問題④過去問題の復習を行う		
47～ 48	模擬試験復習	不正解の問題で、再度試験を行い理解度を確認する 再試験の復習を行う		
49～ 50	計算問題対策①	計算を含む問題を解き、解答解説をノートにまとめて理解する		
51～ 52	計算問題対策② 理解度確認問題 復習	計算を含む問題を試験形式で解き、理解度の確認、復習を行う		
53～ 54	弱点対策①	各自の苦手分野を解析し、必要な問題を解き、復習を行うこと によって正解率をあげる		
55～ 56	弱点対策②	苦手分野の問題を試験形式で解き、復習を行う		
57～ 58	弱点対策③	各自の苦手分野を解析し、必要な問題を解き、復習を行うこと によって正解率をあげる 苦手分野の問題を試験形式で解き、復習を行う		
59～ 60	弱点対策④	各自の苦手分野を解析し、必要な問題を解き、復習を行うこと によって正解率をあげる		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
国家試験対策問題集		期末試験 確認テスト	70.0% 30.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物看護総合実習Ⅱ		動物看護学科/2年	2023/通年	外部実習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	45回	90時間	必須	横山 歩
授業の概要				
<ul style="list-style-type: none"> ・動物病院の概要（歴史的背景、地域特性、診療方針、スタッフの構成等）を理解し、自身が動物病院でどのように加わるかを考える。 ・学校で修得した知識や技術が動物看護業務を実践する上で必須であることを理解する。 ・飼い主対応や処置室等での臨床症例を見学し、可能な範囲で体験学習するなかで、円滑な人間関係を築くために必要な技術や能力を修得する。 				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーションを受け、実習を通して実際の動物看護業務を体験し、その職務内容を理解する。 ・可能な範囲で行う実習項目において、動物看護師としての業務、役割を果たす。 ・チームで行う愛玩動物に対する医療は、獣医師・動物看護師・スタッフ全員がそれぞれの役割を担いつつ、協力し合うことで最善の成果を出せることを理解し、良好なコミュニケーションを構築する。 ・動物愛護の精神、言葉遣い、プライバシーの尊重など基本的な事項について理解する。 ・学内でのカリキュラムや各教科と、動物病院における実際の動物看護業務との関連について、認識を深める。 				
実務経験有無		実務経験内容		
無				
時間外に必要な学修				
講義ノート・教科書等により予習・復習につとめ、授業の習熟を図る。				
1～45	動物看護総合実習Ⅱ	患者動物および実習生において安全に行える範囲内の、動物看護業務		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
実習プリント		評価表	100.0%	現場の院長先生やスタッフの方々とコミュニケーションをとり、卒業後の進路や就職先の参考にする